

tradition

経営理念

# 地域社会の繁栄に奉仕する

～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～

京都の地域金融機関として80年余り。

私たちは創立以来、一貫して「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念を掲げ、地域のみなさまとともに歩み、地域とともに大きく成長してきました。

地域の成長のために、「地域のおもい」に全力で応えることは、私たちの使命。

そのために、未知の領域へ挑戦することは、私たちの本分。

私たちはそう信じています。



contribution

そして地域にとって、

なくてはならない最も必要とされる金融機関として、

持続可能な地域社会の実現のために、これからも成長を続けてまいります。

これまでも、これからも、

「なが————い、おつきあい。」



innovation

# Contents

## イントロダクション

イントロダクション	1
目次	3
京都銀行グループとは	5

## 価値創造の源泉

トップメッセージ	7
資本政策	13
業績ハイライト	15
主要マーケットの現況・ 京都銀行グループのミッション	17
これまでのあゆみと成長モデル	19
さらなる成長戦略	23
強みをいかしたバリュークリエイション	25
ステークホルダーコミュニケーション	27

## 成長戦略

サステナブル社会の実現に向けて	29
脱炭素社会実現に向けた取り組み	31
中期経営計画	33
重点戦略：コンサルティング強化(法人分野)	35
重点戦略：コンサルティング強化(個人分野)	39
重点戦略：DX戦略	41
重点戦略：人的資本経営の実践	43

## 価値創造を支える経営基盤

コーポレート・ガバナンス	45
リスク管理／業務継続体制・サイバーセキュリティ	51
コンプライアンス(法令等遵守)の体制／ マネー・ローンダリング等対策の体制	53
トピックス／店舗ネットワーク	55

## 編集方針

本誌は、国際統合報告評議会（IIRC）「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省「価値協創ガイダンス」を参考にし、財務情報に加え、非財務情報として経営方針や経営戦略などについて、沿革や特長などを交えつつご説明しております。また、銀行法第21条に基づくディスクロージャー資料（業務及び財産の状況に関する説明書類）を兼ねております。ディスクロージャー資料としてご利用の際は、当行HPに掲載しております「資料編」を合わせてご参照ください。

なお本誌には、当行の業績に関する業績予想および計画等の将来に関する記述が含まれております。これらは、本誌作成時点における入手可能な情報および将来の業績に影響を与える予測や一定の前提（仮定）などを基に記載しており、当行の将来の業績を保証するものではなく、さまざまなリスクや不確実性を内包しております。



## 表紙に込めた思い

シンボルマークをモチーフに、これまでの地域に対するおもいを大切にしつつ、これまでとは異なる新たなステージへ踏み出す決意を表現しております。



## プロフィール

2023年3月31日現在

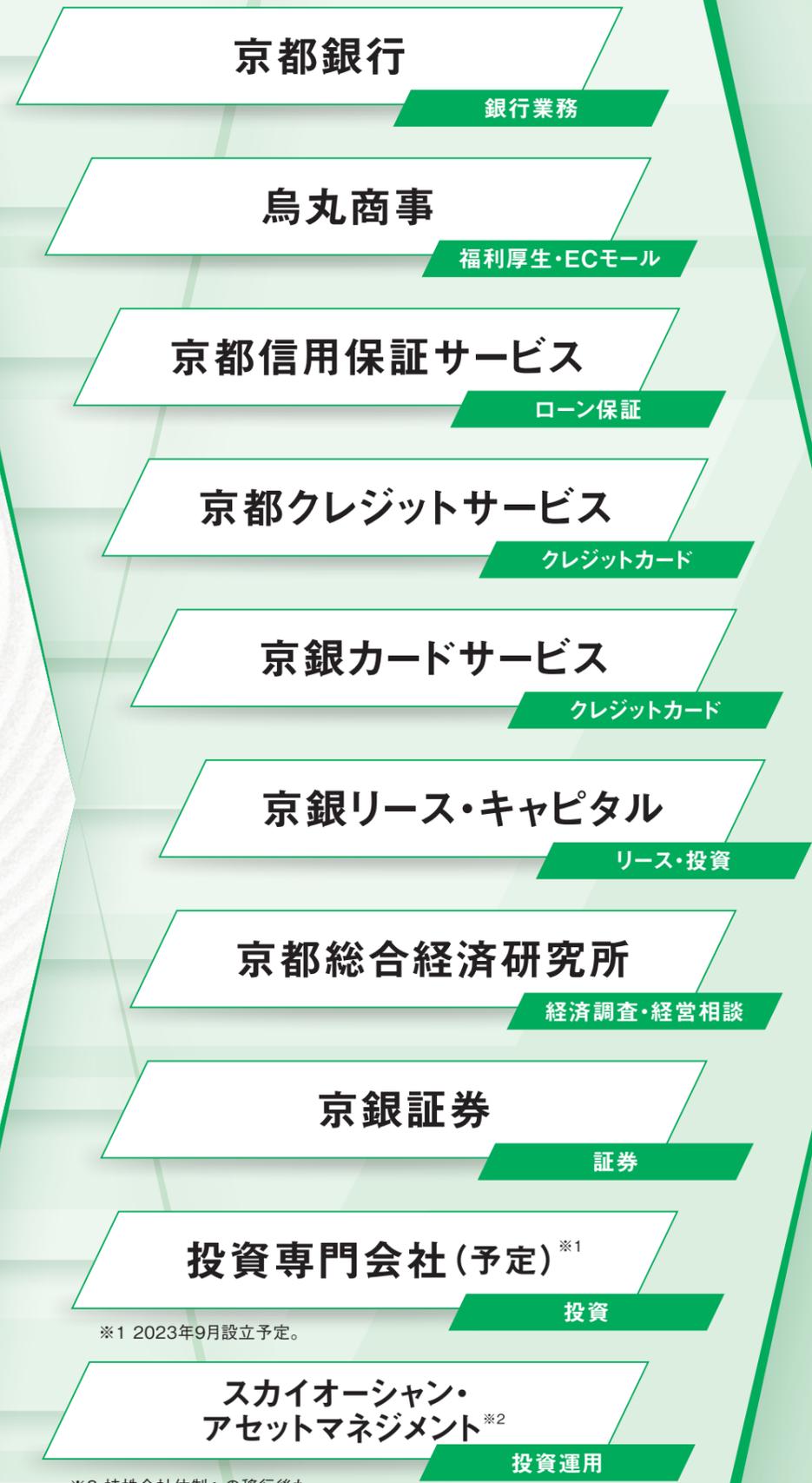
名称	株式会社 京都銀行／The Bank of Kyoto, Ltd.
本店所在地	京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700番地
創立	1941年(昭和16年)10月
総資産	11兆176億円
預金・譲渡性預金	9兆1,046億円
貸出金	6兆3,059億円
従業員	3,353人
拠点数	197か所
本支店・出張所 <sup>*</sup> 174、ローン営業部11、法人オフィス3、移動店舗車1、駐在員事務所4（香港・上海・大連・バンコク）、その他4	
<sup>*</sup> 店舗内店舗11、ネットダイレクト支店1、振込専用支店1を含む	

Our MISSION

# 地域の成長を牽引し、 ともに未来を創造する 総合ソリューション企業

地域社会・お客さまが抱える多様で複雑な課題の解決に向けて、  
京都銀行グループは、銀行および子会社8社（設立予定の投資専門会社を含む）、  
関連会社1社の企業活動を積極的に展開し、  
多様なサービスを提供しています。

そして地域のさらなる成長を牽引するべく、  
「新たな成長・発展ステージ」への第一歩として  
2023年10月に持株会社体制に移行いたします。



※1 2023年9月設立予定。

※2 持株会社体制への移行後も  
京都銀行の持分法適用関連会社とします。

2023年10月持株会社体制へ

詳細はP.23

General Solution

Company